

令和3年度 第4回 焼津市地域公共交通会議

【説明資料】



焼津南ロータリークラブ様からベンチ6基の
寄贈を受けました（令和3年12月22日）

令和4年1月20日（木曜日）

建設部道路課

(1) 報告事項

- ア 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシーの利用状況について
- イ 焼津市地域公共交通網形成計画における目標達成状況について
- ウ 大井川地区の公共交通網再編に関する第1回住民説明会の開催について

ア 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシーの利用状況について①

1. 利用状況（令和3年12月末日現在）

利用登録者数	301人（対象エリア推定人口1,700人の約17%）				
利用人数	710人	実利用者数	49名（利用登録者数の約16%）		
運行台数	600台	運行日数	390日	運行対象日数	762日
主な行き先	焼津駅（351人）、大村公民館（157人）、甲賀病院（117人）				

2. 収支状況（令和3年12月末日現在）

運行経費	1,177,056円
運賃収入	264,650円
運行委託料	912,406円
1人1回当たり公費負担	1,285円

3. 目標達成状況（焼津市地域公共交通網形成計画の目標）

	目標値	実績値	達成率
乗合率 (利用人数÷運行台数)	1.4人/台以上	1.18人/台	84.5%
収支率 (運賃収入÷運行経費)	27.0%以上	22.5%	83.3%
利用者満足度	44%以上	84%	100%

ア 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシーの利用状況について②

<月別利用人数>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4月	—	3人	38人
5月	—	4人	37人
6月	29人	18人	29人
7月	30人	16人	23人
8月	23人	12人	21人
9月	24人	17人	20人
10月	15人	17人	27人
11月	12人	26人	37人
12月	31人	25人	34人
1月	15人	29人	—
2月	22人	39人	—
3月	3人	38人	—
合計	204人	240人	266人

令和3年10月
本格運行開始

イ 焼津市地域公共交通網形成計画における目標達成状況について①

1. 計画に関する目標

指 標		基準値 (平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (最終評価)	
バスの年間利用回数 ※自主運行バス及び民間路線バスの年間利用者数を年度末人口で割った値	目標値	－	10.8回/人以上	10.8回/人以上	10.8回/人以上	10.8回/人以上	
	実績値	10.8回/人	10.6回/人	10.5回/人	7.7回/人	－	
	達成状況	－	98%	97%	71%	－	
人口カバー率 ※バス停半径500メートル圏内人口を、直近の国勢調査人口で割った値	目標値	－	93%	93%	93%	93%以上	
	実績値	93%	93%	93%	93%	－	
	達成状況	－	100%	100%	100%	－	
交通結節点におけるバス利用者数	【焼津駅】	目標値	－	1,766人/日	1,825人/日	1,884人/日	1,942人/日
		実績値	1,766人/日	1,807人/日	1,730人/日	1,266人/日	－
		達成状況	－	102%	95%	67%	－
	【西焼津駅】	目標値	－	323人/日	334人/日	345人/日	355人/日
		実績値	323人/日	402人/日	388人/日	281人/日	－
		達成状況	－	120%	116%	81%	－
	【焼津市立総合病院】	目標値	－	236人/日	244人/日	252人/日	259人/日
		実績値	236人/日	196人/日	191人/日	162人/日	－
		達成状況	－	83%	78%	64%	－
	【大井川庁舎】	目標値	－	13人/日	15人/日	17人/日	19人/日
		実績値	13人/日	13人/日	14人/日	14人/日	－
		達成状況	－	100%	93%	82%	－
※毎年6月の利用者で評価							
バス路線維持に係る市民一人当たりの年間負担額 ※自主運行バス市実質負担額及び路線バス市補助額を年度末人口で割った値	目標値	－	900円以内	900円以内	900円以内	900円以内	
	実績値	886円	981円	1,287円	1,375円	－	
	達成状況	－	92%	70%	65%	－	
地域による検討組織の数	目標値	－	1か所	2か所	3か所	3か所以上	
	実績値	1か所	1か所	2か所	3か所	－	
	達成状況	－	100%	100%	100%	－	
協力企業・医院等の数	目標値	－	1社	2社	3社	5社	
	実績値	1社	1社	1社	1社	－	
	達成状況	－	100%	50%	33%	－	

2. 自主運行バス全体の目標

指 標		基準値 (平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (最終評価)
沿線人口当たりの年間利用者数 ※年間利用者数を沿線人口（94,970人）で割った値。	目標値	－	1.2人	1.2人	1.2人	1.2人以上
	実績値	1.2人	1.6人	1.5人	1.1人	－
	達成状況	－	131%	125%	92%	－
収支率 ※運賃収入及び有料広告収入を運行委託費で割った値。	目標値	－	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%以上
	実績値	21.0%	19.8%	13.9%	10.2%	－
	達成状況	－	94%	66%	49%	－
利用者満足度 ※市民意識調査において自主運行バス利用者で市内のバス路線が便利だと答えた市民の割合。	目標値	－	40.2%	41.4%	42.7%	44%以上
	実績値	40.2%	31.2%	31.1%	29.4%	－
	達成状況	－	78%	75%	69%	－

3. 自主運行バス路線別の目標

①焼津循環線

指 標		基準値 (平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (最終評価)
沿線人口当たりの年間利用者数 ※年間利用者数を沿線人口（64,228人）で割った値。	目標値	－	1.7人	1.7人	1.7人	1.7人
	実績値	1.7人	1.9人	1.81人	1.3人	－
	達成状況	－	111%	106%	75%	－
収支率 ※運賃収入及び有料広告収入を運行委託費で割った値。	目標値	－	32.8%	32.8%	32.9%	33.0%
	実績値	32.8%	28.4%	20.1%	14.2%	－
	達成状況	－	87%	61%	43%	－

3. 自主運行バス路線別の目標

②大井川焼津線

指 標		基準値 (平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (最終評価)
		沿線人口当たりの年間利用者数 ※年間利用者数を沿線人口（32,565人）で割った値。	目標値	－	0.64人	0.76人
	実績値	0.64人	0.54人	0.54人	0.46人	－
	達成状況	－	85%	71%	52%	－
収支率 ※運賃収入及び有料広告収入を運行委託費で割った値。	目標値	－	9.7%	11.5%	13.3%	15.2%
	実績値	9.7%	10.2%	8.9%	7.7%	－
	達成状況	－	106%	77%	58%	－

②大井川西部循環線

指 標		基準値 (平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (最終評価)
		沿線人口当たりの年間利用者数 ※年間利用者数を沿線人口（21,342人）で割った値。	目標値	－	0.45人	0.63人
	実績値	0.45人	0.50人	0.45人	0.41人	－
	達成状況	－	85%	71%	51%	－
収支率 ※運賃収入及び有料広告収入を運行委託費で割った値。	目標値	－	7.1%	8.9%	10.7%	12.5%
	実績値	7.1%	7.3%	3.7%	3.3%	－
	達成状況	－	102%	41.5%	31%	－

ウ 大井川地区の公共交通網再編に関する第1回住民説明会の開催について

◎令和3年12月11日・19日に第1回住民説明会を開催しました

第1回住民説明会開催の様子

【飯淵区公会堂】



【藤守自治会館】



【大井川公民館】



【上泉公民館】



開催日	時間	会場	参加人数
12月11日 (土曜日)	午前10時～	飯淵区 公会堂	30人
	午後2時～	藤守 自治会館	29人
12月19日 (日曜日)	午前10時～	大井川 公民館	40人
	午後2時～	上泉 公民館	25人

質疑応答、意見

大井川地区再編案について

○大井川焼津線は、現在と変わらず運行を継続するのか？

⇒大井川焼津線の運行は継続する。

利用料金について

○上泉地区から焼津市立総合病院へバスで移動する場合、現状は運賃200円であったが、令和4年度以降はいくらになるのか？

⇒デマンド型乗合タクシーの運賃300円と、路線バスの運賃が必要となる。

○デマンド型乗合タクシーのみ運賃が300円となるのはなぜか？

⇒運行頻度の増加や土曜日の運行、停留所の増加等のサービスが向上され、運行形態がバスとは異なるため、運賃を300円とした。

なお、焼津IC周辺で既に実施しているデマンド型乗合タクシーの運賃も300円ある。

事前登録・予約・利用方法について

○事前登録が必要とあるが、登録を証明するものはあるか？

⇒登録した方を対象に、別途登録証を発行する。

令和3年度12月～令和4年1月に申請された方は、2月末頃に登録証を郵送する予定である。

○デマンド型乗合タクシー利用時は登録証等を提示する必要があるか？

⇒登録証を忘れた場合でも利用可能である。

○車いすの方も利用可能であるか？

⇒車いすを畳んでの利用となる。

停留所について

○新規停留所について、公共施設の付近など、停留所を増やすことは可能か？

⇒利用要望が多い場合など、今後の改善策として適宜増やすことは可能である。

○乗降場所は、利用時の要望に応じて場所を細かく変えられるのか？

⇒要望に応じた乗降場所の変更については実証実験中に検討していきたい。

乗り継ぎについて

○乗り継ぎによる利用イメージが分からないため、例を示した方がよい。
⇒令和4年2月に実施する第2回住民説明会では具体の例を示す。

○藤枝方面へ向かう路線バスと、デマンド型乗合タクシーとの乗り継ぎ時間はどの程度か？
⇒現在、事業者と検討しており、10分～20分以内での乗り継ぎ時間を目標としている。

その他について

○実証実験中に出た要望は、令和6年度以降の本格実施まで取り入れなくてよいのか？
⇒随時、可能な範囲で改善を行っていく。

○今回のデマンド型乗合タクシーは、利用者を増加させるための工夫は検討しているのか？
⇒必要な時に必要な場所を走行することによる、運行頻度の増加と停留所の新設や、土曜日の運行等の利便性向上を図っている。

(2) 協議事項

- ア 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）
について
- イ 令和4年度自主運行バス運行計画（案）について
- ウ 令和4年度路線バス単独継続困難路線の対応について

令和3年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）について、「中部運輸局における令和2年度・令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施方針」に基づき、事業の効果的かつ効率的な推進と地域全体のネットワークを踏まえた事業の評価及び見直しを検討するため、事業の実施状況を確認し、目標達成状況等の自己評価をする。

1. 対象路線

市域を跨ぐ幹線的バス路線と接続する等、フィーダー（枝葉）系統として国の補助要件を満たしている自主運行バス路線

○大井川焼津線

大井川庁舎と焼津駅を結ぶ系統（4系統）

○大井川西部循環線

大井川庁舎と市立病院を、上小杉・大島を經由して結ぶ系統（4系統）

2. 評価対象期間

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

3. 事業評価（案）

「別添資料1」のとおり

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 焼津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持改善事業

令和4年1月

	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大井川焼津線	しずてつジャストライン株式会社	大井川庁舎～焼津市立病院前～焼津駅前	・焼津市地域公共交通網形成計画に基づき、機能的な支線として、当該路線の運行を維持するとともに、利用促進事業を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標】 ・収支率 13.3% ・焼津駅前・焼津市立病院前・グランリバー前停留所利用者数 合計15,180人 【達成状況】 ・収支率 7.8%(未達成) ・バス停利用者数 12,041人(未達成) C 【考察】 収支率は、コロナの影響を受け運賃収入が前年を大きく下回ったこと、計画作成時よりも運行経費が上昇していることから、目標値を下回る結果となった。利用者数については、車両の感染症対策や利用促進策を行ったが目標値には及ばなかった。	・西部循環線廃止に伴う車両運用変更によるダイヤの変更併せて、情報発信や利用啓発による利用促進策を実施する。 ・利用実態に則した運行内容の見直しについて、地域による委員で構成する大井川分科会において協議を進めていく。
		大井川庁舎～グランリバー前～焼津駅前				
		焼津駅前～グランリバー前～大井川庁舎	・自己評価及び二次評価を受け、新たに以下を実施した。 ①コロナ対策として、バス内の抗菌・抗ウイルスコーティングやウインドバイザー設置による換気を実施。 ②JRや路線バスへの乗り継ぎ利便性を考慮したダイヤの調整を検討。			
		焼津駅前～焼津市立病院前～大井川庁舎	・昨年に引続き以下を実施した。 ①経路図及び時刻表の市内病院、商業施設、公共施設への配置・配布、②転入者への路線図及び時刻表の配布、③自治会別の通院、買い物用時刻表の作成、④自主運行バスを利用した地域資源等を巡るウォーキング事業、⑤環境部署と連携した市職員へのバス利用啓発			

	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大井川西部循環線	しずてつジャストライン株式会社	大井川庁舎～大島中央公園・つつじ平団地～大井川庁舎	・焼津市地域公共交通網形成計画に基づき、機能的な支線として、当該路線の運行を維持するとともに、利用促進事業を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標】 ・収支率 10.7% ・焼津市立病院前・グランリバー前・南停留所利用者数 合計 9,948人 【達成状況】 ・収支率 3.2%(未達成) ・バス停利用者数 6,717人(未達成) 【考察】 収支率は、コロナの影響を受け運賃収入が前年を大きく下回ったこと、計画作成時よりも運行経費が上昇していることから、目標値を下回る結果となった。利用者数については、車両の感染症対策や利用促進策を行ったが、目標値には及ばなかった。	・既存のバス路線である西部循環線を廃止し、新たな公共交通としてデマンド型乗合タクシーの運行を開始する。なお、運行にあたっては2年間の実証実験を行い本格運行を目指す。併せて、情報発信や利用啓発による利用促進策を実施する。 ・利用実態に則した運行内容の見直しについて、地域による委員で構成する大井川分科会において協議を進めていく。
		大井川庁舎～つつじ平団地・大島中央公園～大井川庁舎	・自己評価及び二次評価を受け、新たに以下を実施した。			
		大井川庁舎～焼津市立病院前～大井川庁舎	①コロナ対策として、バス内の抗菌・抗ウイルスコーティングやウインドバイザー設置による換気などを実施。			
		大井川庁舎～大島中央公園～焼津市立病院前	②大井川分科会を設置し、地域公共交通再編案を検討。再編案のうち、当該路線においては既存の定時定路線での継続が困難である路線として、運行内容の見なおしのため、新たな公共交通としてデマンド型乗合タクシーの導入を検討した。 ・昨年に引続き以下を実施した。 ①経路図及び時刻表の市内病院、商業施設、公共施設への配置・配布、②転入者への路線図及び時刻表の配布、③自治会別の通院、買い物用時刻表の作成、④自主運行バスを利用した地域資源等を巡るウォーキング事業、⑤環境部署と連携した市職員へのバス利用啓発			

別添資料1-2

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月

協議会名：	焼津市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>焼津市地域公共交通網形成計画に基づき、「市民が暮らしやすく 誰もが移動しやすい 交通環境が充実したまちやいづ」を基本的な理念とし、路線バスと自主運行バスのネットワーク化を図っていくとともに、地域住民の快適な日常生活をサポートするためのサービスを提供することを目指す。</p> <p>この事業は、市内大井川地区を運行する自主運行バス路線について、幹線(JR東海道線と民間路線バス)に対する支線として機能させ一体的な公共交通ネットワークを構築し、地域住民の生活行動にあった移動手段を確保することを目的としており、通院や買い物、JR東海道線への乗り継ぎなど、地域住民の日常生活にあった公共交通サービスを確保維持するために必要である。</p>

来年度の自主運行バス運行計画（案）について、焼津市地域公共交通会議において対応方針等を検討・調整し、その結果を静岡県生活交通確保維持対策協議会へ報告する。

1. 各路線の運行計画（案）

路線名	運行計画（案）
焼津循環線	●現行通りのルート、バス停、便数とする。
大井川焼津線	●現行通りのルート、バス停、便数とするが、西部循環線の廃止に伴う車両運用の変更に合わせてダイヤを微調整。 ※今後の運行のあり方について、網形成計画に基づき、地域公共交通大井川分科会と連携した協議・検討を実施する。
大井川西部循環線	●既存の大井川西部循環線を廃止し、新たにデマンド型乗合タクシーを導入。 ※導入にあたっては、2年間の実証実験を経て本格運行へ移行を目指す。 ※改善策について、地域公共交通大井川分科会と連携した協議・検討を実施する。

2. 実施する利用促進策（案）

- ・ 新たな公共交通の導入に関する周知
（住民説明会の開催や停留所マップの作成・配布など）
- ・ バス車両への感染症予防対策の充実
- ・ バス沿線施設別時刻表ポスターの作成と掲示
- ・ 公共施設、医療機関及び商業施設への時刻表の配布
- ・ 転入者へのバスマップ・時刻表の配布
- ・ 大井川地区自治会別の通院・買い物用時刻表の作成
- ・ 広報誌へのバス利用の呼びかけに関する記事の掲載
- ・ 小学生が描いたバスの絵を車内に展示する企画の実施
- ・ 自主運行バスを利用し地域の史跡や自然を鑑賞するウォーキングツアーの実施
- ・ 回数券の販売

路線バスの運行事業者が「静岡県生活交通確保維持対策協議会」に提出した「事業者単独での旅客運送事業の継続が困難である旨の申出」に記載された路線（単独継続困難路線）について、地域公共交通会議において対応策等の検討・調整をし、その結果を同協議会へ提出する。

1. 路線の概要（国県補助系統・地域間幹線系統）

路線名	系統（起終点、主な経由地）	運行便数	路線距離	主な役割
五十海大住線	清里(藤枝市)～西焼津駅、静岡福祉大学～焼津市立病院	平日：27便 土日祝：0便	往路：12.4km 復路：12.4km	西焼津駅～静岡福祉大学間の通学利用。 大富、豊田地区～西焼津駅間の通勤・通学利用。
焼津岡部線	焼津駅前～坂本～岡部営業所	平日：42便 土日祝：25便	往路：6.9km 復路：7.4km	東益津地区～焼津駅間の通勤・通学利用。
藤枝吉永線	藤枝市立総合病院～藤枝駅、清流館高校～飯淵	平日：24便 土日祝：18便	往路：14.7km 復路：14.7km	大井川地区～藤枝駅間の通勤・通学利用。
藤枝相良線	藤枝駅南口～下江留、静波海岸入口～相良営業所	平日：30便 土日祝：20便	往路：24.6km 復路：24.6km	大井川地区～藤枝駅間の通勤・通学利用。

※2021年3月28日現在のダイヤの本数を記載

ウ 令和4年度路線バス単独継続困難路線の対応について②

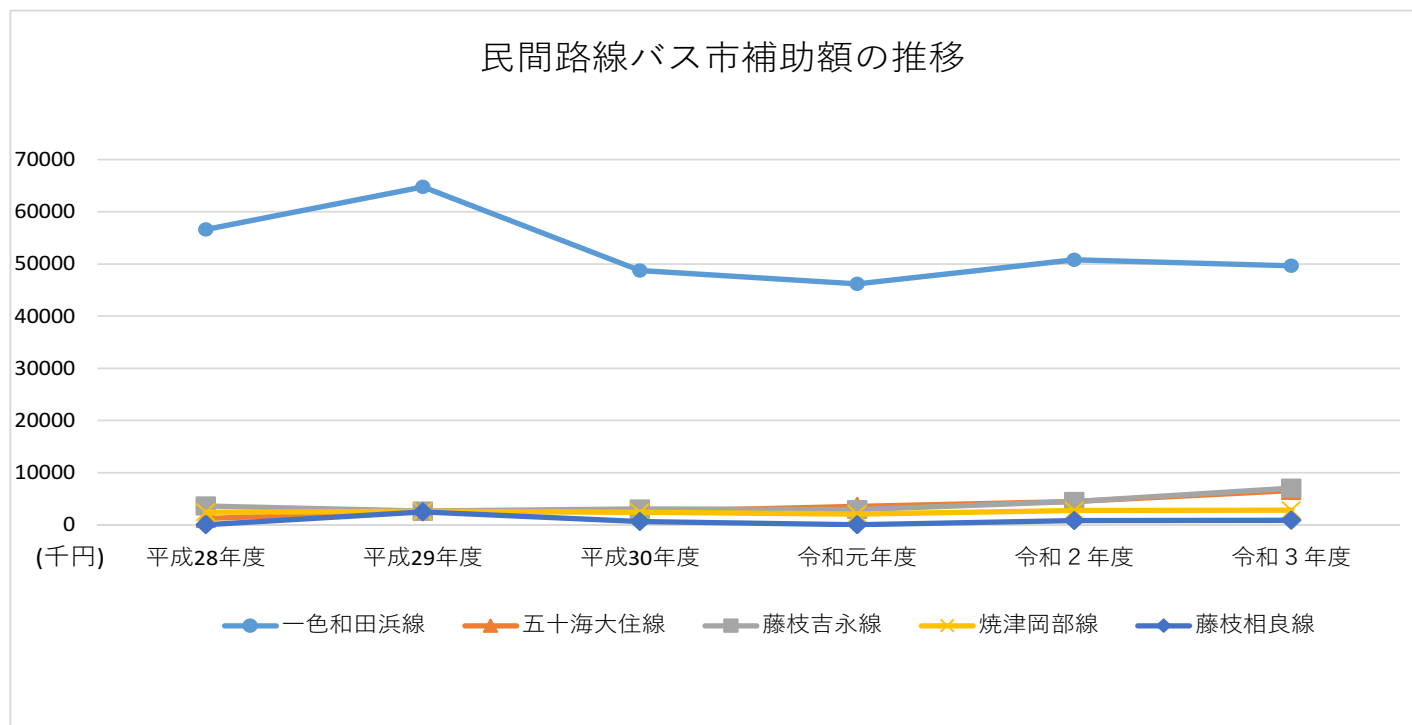
2. 路線の概要（市単独補助系統）

路線名	系統（起終点、主な経由地）	運行便数	路線距離	主な役割
一色和田浜線	一色まわり （焼津駅前～焼津市立病院、田尻北～焼津駅前）	平日：13便 土日祝：12便	往路：20.4km 復路：0.0km	和田、港、小川地区～焼津駅間の通勤・通学利用。 和田、港、小川地区～市立病院間の通院、同病院周辺の商業施設への買い物利用。
	一色まわり （水産加工センター～焼津駅前）	平日：2便 土日祝：1便	往路：10.7km 復路：0.0km	
	一色まわり （焼津駅前～焼津市立病院～水産加工センター）	平日：1便 土日祝：1便	往路：9.7km 復路：0.0km	
	和田浜まわり （焼津駅前～田尻北、焼津市立病院～焼津駅前）	平日：13便 土日祝：13便	往路：0.0km 復路：20.6km	
	和田浜まわり （水産加工センター～焼津市立病院～焼津駅前）	平日：2便 土日祝：1便	往路：0.0km 復路：9.9km	
	和田浜まわり （焼津駅前～下浜東洋水産前）	平日：1便 土日祝：0便	往路：0.0km 復路：8.4km	
五十海大住線	清里（藤枝市）～豊田～西焼津駅北口	平日：0便 土日祝：18便	往路：6.4km 復路：6.3km	大富、豊田地区～西焼津駅間の通勤・通学利用。
	西焼津駅南口～静岡福祉大学、焼津市立病院	平日：4便 土日祝：0便	往路：5.7km 復路：5.7km	
藤枝吉永線	藤枝駅前～飯淵	平日：7便 土日祝：6便	往路：11.0km 復路：11.0km	大井川地区～藤枝駅間の通勤、通学利用。

3. 大井川地区の公共交通再編に伴う路線の延伸

路線名	系統（起終点、主な経由地）	運行便数(案)	路線距離	主な役割
焼津大島線	焼津駅～静岡福祉大学・大島新田～大井川庁舎	平日：56便 土日祝：50便	往路：10.0km 復路：10.0km	大井川地区～市立病院～焼津駅間の通勤、通学、通院、買い物利用。

4. 市補助額の推移



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一色和田浜線	56,622,380	64,734,812	48,722,596	46,149,702	50,789,325	49,676,704
五十海大住線	1,225,990	2,629,559	2,535,796	3,522,109	4,461,904	6,596,384
藤枝吉永線	3,623,475	2,651,770	3,050,267	2,932,916	4,446,764	7,007,870
焼津岡部線	2,423,581	2,603,460	2,423,663	2,089,866	2,751,370	2,787,835
藤枝相良線		2,439,372	643,969		827,182	860,100
合計	63,895,426	75,058,973	57,376,291	54,694,593	63,276,545	66,928,893

※令和3年度は見込み額

5. 対応（案）

対象路線については、朝夕は主に通勤・通学者の移動手段として利用され、日中は通院・買い物などの移動手段として利用されており、市民等の生活交通として必要不可欠であることから、以下のとおりの対応をする。

- 「焼津市地域公共交通網形成計画」に基づき、運行事業者、国・県及び関係市町と協議・調整を図りながら、利用促進策及び収支改善策を検討・実施し、市民の生活交通路線として欠損が生じた場合には、予算の範囲内においてこれを補助する。

6. 地域間幹線系統に関する評価

地域間幹線系統については、「静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価」に基づき、地域間幹線系統市町取組シート（別添資料2）を作成し、静岡県生活交通確保対策協議会へ提出する。

系統名	取組内容
五十海大住線	<ul style="list-style-type: none"> • 国庫補助減額分など欠損分について、関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持をする。 • 市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載。 • 市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 • 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。
焼津岡部線	<ul style="list-style-type: none"> • 国庫補助減額分など欠損分について、関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持をする。 • 市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載。 • 市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 • 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。
藤枝吉永線	<ul style="list-style-type: none"> • 国庫補助減額分など欠損分について、関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持をする。 • 市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載。 • 市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 • 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。
藤枝相良線	<ul style="list-style-type: none"> • 国庫補助減額分など欠損分について、関係市町（藤枝市・牧之原市・吉田町）とともに負担し、路線維持をする。 • 市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載。 • 市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 • 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。